

じつとじつは、  
支えあって  
生きている。

誰もが暮らしやすいまちにしていきたいために

私たちにできることは何なのか、

当事者の方々と一緒に考える交流会を開催します。

お気軽にご参加ください。

# さがすたいる。

さがらしいやさしさのカタチ

## レッツさがすたいるトーク

～それぞれのスタイルで暮らすために私たちができること～

2019.2.23 土 14:00 - 17:00 【13:30開場】

会場 | JONAI SQUARE / cafe

佐賀市城内1-6-10 サガテレビ1F

定員 | 40名 【事前申込・先着順】

申込方法については裏面をご覧ください

参加費 | 500円 【1ドリンク&軽食付き】

小学生以下のお客様は無料



さがすたいる  
さがらしい、やさしさのカタチ

# レッツさがすたいるトーク

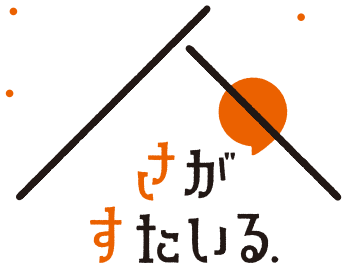
～それぞれのスタイルで暮らすために私たちができること～

2019.2.23<sup>土</sup>

14:00-17:00

## こんな思いをお持ちの方にオススメです

- ☑ 障がいのある方、介護に携わる方、医療福祉分野に携わる方
- ☑ 障がいのある方やお年寄り、子育て中の方などの当事者を支えるお仕事、活動をされている方
- ☑ お店を経営している方、お店で働いている方(お店の業態は問いません)
- ☑ バリアフリーやユニバーサルデザイン、ダイバーシティなどの考え方に興味関心のある方



## ゲストスピーカーによるクロストーク

障害や介護、育児、暮らし、地域づくりなどの各分野で活動するゲストが語る「誰もが暮らしやすいまちづくりのヒント」



● ゲスト  
**岡 勇樹 氏**  
Yuki Oka

NPO法人Ubdobe 代表理事  
合同会社ONE ON ONE 代表  
一般社団法人国際福祉機構 代表理事

1981年東京生まれ。3歳から8年間アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコで生活し、帰国後、DJ・ドラム・ディジュリッドなどの音楽活動を始める。21歳で母を癌で亡くし、後に祖父が認知症を患ったことをきっかけに音楽療法を学びながら、高齢者介護や障がい児支援の仕事に従事。29歳でNPO法人Ubdobeを設立し代表理事に就任。医療福祉がテーマのクラブイベント、障がい児や難病児と創る野外フェス、医療福祉系企業や行政のイベントやデザインのプロデュース事業などを立ち上げる。ハードコアとヒップホップ経由のエレクトロニカが好きである。



● ゲスト  
**工藤 瑞穂 氏**  
Mizuho Kudo

NPO法人soar 代表理事  
ウェブメディア「soar」編集長

1984年青森県生まれ。宮城教育大学卒。仙台の日本赤十字社で勤務中、東日本大震災を経験。震災後、仙台で音楽・ダンス・アートと社会課題についての学びの場を融合したチャリティイベントやお寺、神社などのフェスティバルを地域住民とつくる。2015年12月、社会的マイノリティの可能性を広げる活動に焦点を当てたメディア「soar」をオープン。2017年1月に「NPO法人soar」を設立。様々なアプローチで、全ての人が自分の持つ可能性を發揮して生きていける未来づくりを目指している。



● ゲスト  
**小野 裕之 氏**  
Hiroyuki Ono

greenz.jpビジネスアドバイザー  
ジュエリーブランドSIRI SIRI共同代表  
おむすびスタンドANDON共同代表

1984年岡山県生まれ。中央大学総合政策学部を卒業後、ベンチャー企業に就職。その後、ソーシャルデザインをテーマにしたウェブマガジン「greenz.jp」を運営するNPO法人グリーンズの経営を6年務め、2018年、同法人のソーシャルデザインやまちづくりに関わる事業開発・再生のプロデュース機能をO&G合同会社として分社化、代表に就任。

## 事例紹介

お店が実践している  
やさしさのカチを知ろう

まちにあるやさしさのカチはひとつではありません。バリアフリーを意識したお店づくりもあれば、店員さんたちのサポートが行き届いたお店もあります。ここでは実際にお店が実践している「さがすたいる」を紹介していきます。

## 交流会

みんなが暮らしやすいまちにしていけるために  
できることを考えよう

交流会では、ゲストと一緒に、より良くみんなが暮らしていけるまちづくりのために何が必要なのか、参加者全員で考えていきます。みなさん一人ひとりの声を聞かせてください。



レッツさがすたいるトーク  
(第1回)の交流会の様子▶

「さがすたいる」とは

まちの中にある、様々な人たちにやさしいお店を検索することができるウェブサイトです。お店のやさしさのカチを積極的に紹介するとともに、当事者が不安に感じていること、必要としていること、などを当事者の視点に立って伝えていくことに取り組んでいます。

## 申込方法

お申し込みは、メールまたは電話にて受付します。  
※定員になり次第、申込を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

電話：0952-97-9699 受付:10:00~19:00

メール：saga@ebisufm.com

お問い合わせ：(株)コミュニティジャーナル

☎0952-97-9699

受付:10:00~19:00

定員

40名

事前申込・先着順

詳しくはWEBをご覧ください

さがすたいる



<https://saga-style.jp/>